

## せつ明文の内よりを読みとる

正答数

4

できだがな  
（）（）（）（）

月 日 年 組 番 名前

つぎの文しようを読んで、下のもんだいに答えましょう。

すきとおった青い海が、どこまでもつづいています。なんと、たくさんのがいるのでしょうか。なんと、色あざやかなのでしょうか。うみがめも、きもちよさそうにおよいでいます。

ここは、日本の南のあたたかいさんごしようの海です。  
うみがめが、さんごの間をおよいでいると、くまのみ、という魚に出会いました。おや、いそぎんちやくのところにいて、だいじょうぶなのでしょうか。なぜって、いそぎんちやくは、魚を食べるからです。

しんぱいりません。くまのみは、いそぎんちやくと大のなかよしなのです。

どこからともなく、たくさんのがやつてきました。きれいなしましまが目立ちすぎて、大きな魚におそれないでしょうか。

きらきらとかがやくさんごしようの海では、明るい色の方が目立たないというからふしぎです。

それに、しまもようの魚がすばやくおよぎまわっていたらどうでしょう。あいてには、線のようなものがはしているように見えるかもしませんね。

（武田正倫「北のさかな 南のさかな」より）

(1) すきとおった青い海とあります。ここはどこかの海ですか。□にあてはまることばを、文しようの中から五字でぬきだしましょう。

日本の南の、  
□さんごしようの海。



(2) だいじょうぶなのでしょうかとあります。① それはだれ(何)のことをしんぱいしているのですか。つぎから一つえらびましょう。

- 1 さんご  
2 うみがめ  
3 くまのみ

（）

(3) なぜしんぱいなのですか。□にあてはまることばを、文しようの中からぬきだしましょう。

から。  
□は、  
□

ふしぎとあります。どのようなことがふしぎなのですか。つぎから一つえらびましょう。

- 1 さんごしようの海では、明るい色の方が目立たないということ。  
2 さんごしようの海では、しまもようの魚は目立ちすぎておそれないということ。  
3 さんごしようの海では、目立つ色の方がおそわれるということ。

（）

## せつめいのぬもんを読む

P3JA1\_007

(3) (2) (1)

1 ② ① 3

いそぎんちやく(は)魚を食べる(かぶる)

あたたかい